

心のとびら

弥富市立桜小学校
道徳通信 No.54
平成29年 5月26日

“きまりを守ること” について考えました ～2年生の道徳～

2年生になると自分の事だけでなく周りの様子を確認しながら行動することができるようになり、学校生活についての自信が生まれてきます。しかし、自分と自分を取り巻く人々との結びつきや関係作りについて、考えを深めることはまだ十分にできません。自己中心的に判断し行動してしまうことが多く、周りに迷惑をかけたり不快な思いをさせてしまったりしていることに気付かないことが多くあります。

本日の授業では、資料「おばけ学校のきまり」を通して約束やきまりを守らないことで、みんなに迷惑をかけたり、不快な思いをさせたりしてしまうことに気付かせ、なぜ約束やきまりを守る必要があるのかを考えました。

《資料のあらすじ》 おばけ学校のドロちゃんは友達とかくれんぼをします。おばけ学校には「姿を消してはいけない」というきまりがあるにもかかわらず、ドロちゃんはきまりをやぶり姿を消してしまいます。そんなことを知らずに走ってあそんでいる友達とぶつかってしまいころばせてしまいました。そこに心配した友達が集まり、ドロちゃんは困って姿を現せなくなってしまいます。

《授業の様子》「今度、ドロちゃんはどのようなことに気をつけて遊んだらいいでしょう。」という問いかけに対し、児童からは、「すがたを消してはいけない」「きまりを守って遊ぶ」などの意見が出されました。児童はなぜ、姿を消してはいけないのか、きまりを守ることがなぜ必要なのか考え、「きまりの必要性」「守ることの大切さ」を学びました。

みんなの意見・感想

- ★ きまりを守るとみんなが安全に遊べるからいいと思います。
- ★ けがをさせないためにもきまりを守って遊びたいと思います。
- ★ みんながきまりを守ると気持ち良くすごせると思いました。
- ★ きまりがないと困ることがあるなと思いました。
- ★ これからは、私も桜小学校のきまりを守っていきたいです。

